

レジャー施設から従業員用駐車場まで。次世代自動車普及のカギを握る充電スポットを業種別に紹介。

EV・PHV Charging Point Report

EV・PHV充電 インフラレポート

2015

16

戸建住宅への充電設備取付工事は21000件を超え、
全国トップクラスの実績を誇るJM。
充電インフラの整備事業を通じて、スマートコミュニティの確立を図っている。



JM (ジェイエム) (東京都)



JMがコンセントタイプの充電設備を取り付けた、千葉県印西市の坂本氏宅。EVの納車2日前に工事が完了したが、実際の工事時間は半日ほど。旅行や親せきの家へ行く時以外、90%以上が自宅充電。「ガソリン車と比べ、維持費を年間8~9万円削減できた」と語る。充電時に、近隣の住民から注目されることも。

自動車メーカーとも連携し
戸建住宅への充電設備導入を推進

Check Point

- 全国トップクラスの工事実績
- 燃料費の大幅削減に貢献
- V2H^(※)の設置依頼も増加

※V2Hとは「Vehicle to Home」の略で、EVに貯められた電気を電力源として家庭などに利用できるシステムをいう。



家の壁面に充電設備を設置。充電は、充電用コンセント手元スイッチで操作できるほか、充電時間をタイマー設定することも可能だ。

コンセントタイプからV2Hまで2万件を超える工事を実施

EVオーナーの坂本夫妻。導入のきっかけは奥様の「家計の出費を抑えたい」という一言。奥様も運転はするが、充電はいつもご主人が行っている。



JMは、戸建住宅へのV2Hタイプの充電設備工事も積極的に行っている。今後は、太陽光や蓄電池などを含めたエネルギーシステムにも広く対応していきたいと語る。

戸建住宅への充電設備設置で
燃料費が半額以下に

建築設備工事やリフォームを手掛けているJMは、戸建住宅への設置工事を中心に、約25000件のEV・PHV用充電設備工事実績を持つ。自動車メーカーやハウスメーカーと連携しながら、各オーナー宅の条件に適した工事を実施している。

「工事のご依頼を受けてから2週間以内に現地調査から工事までを遂行。工事後におけるお客様への満足度調査など、アフターフォローも万全の体制で臨んでいます」(JM エネルギーマネジメント部 黒田氏)

千葉県印西市在住の坂本氏は、20

13年にコンセントタイプの充電設備工事をJMへ依頼したEVオーナーだ。

「以前はハイブリッド車に乗っていましたが、車にかかる燃料費を抑えたいと思い、EVを購入しました。1カ月の走行距離は平均900kmですが、充電は3日に1回で、燃料費は月に3000円強。以前と比較し、月7000円ほどのコストダウンに成功しました。街乗りが中心なので、自宅充電だけでほぼまかなえています」(坂本氏)

V2Hタイプの設置工事も
月に30〜50件実施

JMでは、補助金の後押しもあり、

緊急時にはEV内のバッテリーにある電力を活用することができる「V2Hタイプ」の設置工事も増加していると語る。

「最近では月当たり30〜50件ほどの工事を行っています。V2H対応の車種も増えてきているため、今後ますますV2Hの需要は高まっていくでしょう。

戸建住宅に充電設備を設置する最大の利点は、自宅で燃料補給して、満タンの状態からスタートできること。補助金対象充電器の機種が増加したうえで、補助金適用範囲が拡大したことで、新たなニーズの掘り起こしにも期待できます。一方でまだそのメリットがお客様へ十分伝わっていないようです。そこで、自動車メーカーと協力しながら、戸建住宅への充電設備導入を啓蒙・促進していきたいと思えます」(黒田氏)

Company Data

JM(ジェイエム) なおしや又兵衛

【本社住所】東京都千代田区二番町三番地
麹町スクエア5F

【ネットワーク拠点】全国69拠点

【充電設備タイプ】コンセント、コンセントスタンド、
V2H

【工事実績】個人/21,165件、法人/3,214件、
公共施設/205件

*原稿は2015年6月30日に取材した内容を元に作成。

お問い合わせ

充電インフラ補助
コールセンター

03-5501-4415 (9:00~17:00
平日のみ)

<http://www.cev-pc.or.jp>

次世代自動車

検索



一般社団法人 次世代自動車振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 大手町建物虎ノ門ビル2階

一般社団法人 次世代自動車振興センターは、経済産業省からの補助金で電気自動車、プラグインハイブリッド自動車や充電設備の購入者等(リースを含む)に対する補助事業を行っています。